

海外事情研究所主催・高大連携事業

夏季世界史セミナー ―世界史の最前線 XV―

日時:2023 年8月3日(木)～4日(金)

開催方法:対面式と遠隔式(Zoom 利用の同時配信)の併用

1 日 目	8 月 3 日 (木)	9:30～10:00	会場受付／Zoom 入室
		10:00～10:10	開会挨拶・趣旨説明
		10:10～11:30	【講義 1】「東南アジア史の「古代」をどう考えるか：時代の区分け、空間のつながり、社会のつくり」 (青山 亨)
		11:30～13:00	昼休み
		13:00～14:20	【講義 2】「1348 年の世界―超広域帝国の分解プロセスと災害複合」 (千葉 敏之)
		14:20～14:30	休憩
		14:30～15:50	【講義 3】「南アジアのイスラーム社会」 (登利谷 正人)
		15:50～16:00	休憩
		16:00～17:20	【講義 4】「イタリア植民地主義と「補償の政治」」 (小田原 琳)
		17:20～17:30	1 日目終了の挨拶、事務連絡など
2 日 目	シンポジウム「〈歴史総合〉時代の高大連携―大学・高校における歴史教育はどう変わっていくのか？」		
	8 月 4 日 (金)	9:00～9:20	会場受付／Zoom 入室
		9:20～9:30	開会挨拶
		9:30～10:20	「小川幸司著『世界史とは何か―「歴史実践」のために』書評」 (小野寺 拓也、本学教員)
		10:20～11:10	「小野寺拓也・田野大輔著『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか』書評」 (小川 幸司、長野県伊那弥生ヶ丘高等学校)
		11:10～11:30	休憩
		11:30～12:10	相互リプライ(小野寺 拓也、小川 幸司) / 質疑応答
		12:10～13:30	昼休み
		13:30～14:20	「本学試行問題について」 (篠原 琢、本学教員)
		14:20～14:30	休憩
		14:55～16:10	座談会「大学・高校における歴史教育はどう変わっていくのか？」 ・登壇者：小川 幸司、小野寺 拓也、春名 展生、菊池 陽子、 木村 航（慶應義塾高等学校） ・司会：篠原 琢
		16:10～16:15	閉会挨拶